

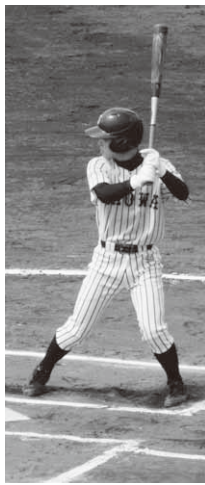


健闘した昭和中野球部のメンバー

## 昭和中野球部が全国大会で健闘

静岡県草薙総合運動場硬式野球場などで3月24日から27日にかけて開催された文部科学大臣杯第8回全日本少年春季軟式野球大会に昭和中学校野球部(登坂俊介監督)が出場し、健闘しましたが初戦で惜敗しました。

大会には、地方大会を勝ち抜いた32



チームが出場。昭和中学校野球部は、初戦で過去2度の全国大会出場経験があり、優勝候補の一角とされる門真ビックドリムス(大阪府)と対戦。初回から一進一退の攻防を続けましたが、3回裏に1点を先制された後、5回裏に追加点を許し惜しくも0対2で敗れました。

大会を終え、主将の唐澤颯土君は「全国の強豪校であり優勝候補と言われているチームと互角な戦いが出来たことが自信につながった。春季大会で勝ち上がったリベンジを果たしたい」とこれからの目標を語ってくれました。

## 6家族が家族経営協定の調印

村農業委員会が主催する家族経営協定調印式が3月30日、役場会議室で行われました。

この協定は、農業経営において家族ひとりひとりの役割と責任を明確にし、それぞれの意欲と能力が十分に発揮できる環境づくりを行うことが目的。

本年は6家族20人が締結。これまでの締結数は160家族となりました。

開式にあたり橋本良雄農業委員長が「家族の役割を明確にし、村の農業発展につながるよう、今まで以上に充実した経営をしてもらえれば」とあいさつ。

調印締結後には、代表の竹吉修平さん(赤合)が「家族経営協定を実践し、安定した農業経営の確立と村農業の更なる発展や活性化に向けて頑張っていきたいと思えます」と謝辞を述べました。



謝辞を述べる竹吉さん



協定書に調印する家族

## 廣田さんに

### 100歳のお祝い

村では3月17日、100歳を迎えられた廣田みよさんを祝い、堤盛吉村長が慶祝状とお祝いを手渡しました。

廣田さんは大正6年3月17日生まれ。今年で満100歳です。

堤村長が「どうぞこれからもお体に気をつけて、元気で長生きしてください」慶祝状とお祝いを手渡すと、廣田さんは「今日はきていただいたありがとうございますとニッコリ。長寿の秘けつを尋ねると「好き嫌いをなく食べる」と微笑みながら話してくれました。



堤村長から慶祝状を受け取る廣田さん



900人の前で熱演する出演者

## 演劇でミャンマー小学校を支援

ビルマの耳飾り実行委員会（角田純子委員長）では3月26日、利根沼田文化会館大ホールで創作劇「ビルマの耳飾り」を上演しました。

これは、「ビルマの耳飾り」原作者であり雲昌寺の故前住職、中村一雄氏が生前、私財を投じて建立したミャンマーのアウンティリ小学校の老朽化が進んでおり、そこで懸命に学んでいる子どもたちのために「何かできることはないか」という同委員会の想いからはじまり、故中村氏の活動を周知するとともに、同小学校の修繕費寄附などを目的に行われたもので

す。

劇の上演にあたっては、およそ50人のキャストやスタッフの皆さんが参加し、長期間にわたって稽古に励み、会場に訪れたおよそ900人の前で2時間半にわたって熱演しました。上演後、角田委員長は「ご協力してくださった方々、ご来場くださった方々には感謝の気持ちでいっぱい。皆様の想いをきちんと学校へ届けたい」と話してくれました。

なお、チケット売り上げや協賛金、募金、寄附金から1,685,268円が修繕費用として同小学校へ贈られます。

## 高砂・ひまわり

### 大学閉講式

高砂・ひまわり大学の合同閉講式が3月17日、村公民館で行われました。

閉講式では、生田流沢井箏曲院教師の林千佳先生を講師に招いた記念演奏と講話が行われたほか、各大学の皆勤者に皆勤賞の授与が行われました。

平成28年度は高砂・ひまわり大学ともに6回の学習会などを行いました。

## ふるさと歴史文化講座を開催

昭和村ボランティアガイドの会（角田勝美会長）では3月18日、利根沼田の様々な歴史や文化を知ってもらおうと、村公民館でふるさと歴史文化講座を開催しました。

講座には、村内外より昭和村の歴史に関心を持つおよそ30人が参加。

今回で15回目となる講座には、昭和村臨時文化財保護主事の石北直樹先生を講師に招き、「森下・川額遺跡群の様相について」と題して、森下・川額地区で発掘された古墳や遺跡などを紹介。かつての住まいや食事など、人々が営んだ生活様式についてなどの講演が行われました。



展示室で土器などを見学



講師の石北さんによる講演



林先生による記念演奏